

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ 世界株式オープン」は、2018年11月30日に第23期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年5月30日まで	
運用方針	・「インベスコ 世界株式 マザーファンド」受益証券への投資を通じて、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に分散投資を行い、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。 ・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	インベスコ 世界株式 オープン	「インベスコ 世界株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界株式 マザーファンド	世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式を主要投資対象とします。
組入制限	インベスコ 世界株式 オープン	・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	インベスコ 世界株式 マザーファンド	・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として年2回の毎決算時（5・11月の各30日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市場動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。 ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	



インベスコ 世界株式オープン  
【愛称】G★プレイヤー



## 運用報告書（全体版）

第23期  
（決算日 2018年11月30日）

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		株組入比率	式率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金	み				
	円	分	金	%	%	%	百万円
19期(2016年11月30日)	10,538		0	3.1	97.2	—	2,750
20期(2017年5月30日)	11,416		0	8.3	99.4	—	2,498
21期(2017年11月30日)	12,314		0	7.9	98.3	—	2,472
22期(2018年5月30日)	11,940		0	△3.0	97.1	1.2	2,258
23期(2018年11月30日)	12,310		0	3.1	93.3	2.1	2,210

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から成長の見込まれる企業に投資を行っています。そのため、当ファンドと比較するベンチマークおよび参考指数を設けていません。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	式率	投資信託証券組入比率
		騰	落			
	円	%	%	%	%	%
(期首) 2018年5月30日	11,940	—	—	97.1	97.1	1.2
5月末	12,109	1.4	—	97.1	97.1	1.6
6月末	12,375	3.6	—	94.4	94.4	2.2
7月末	12,770	7.0	—	96.0	96.0	2.2
8月末	13,097	9.7	—	96.0	96.0	2.2
9月末	13,348	11.8	—	92.8	92.8	2.2
10月末	12,070	1.1	—	92.9	92.9	2.1
(期末) 2018年11月30日	12,310	3.1	—	93.3	93.3	2.1

(注) 基準価額は1万口当たりです。

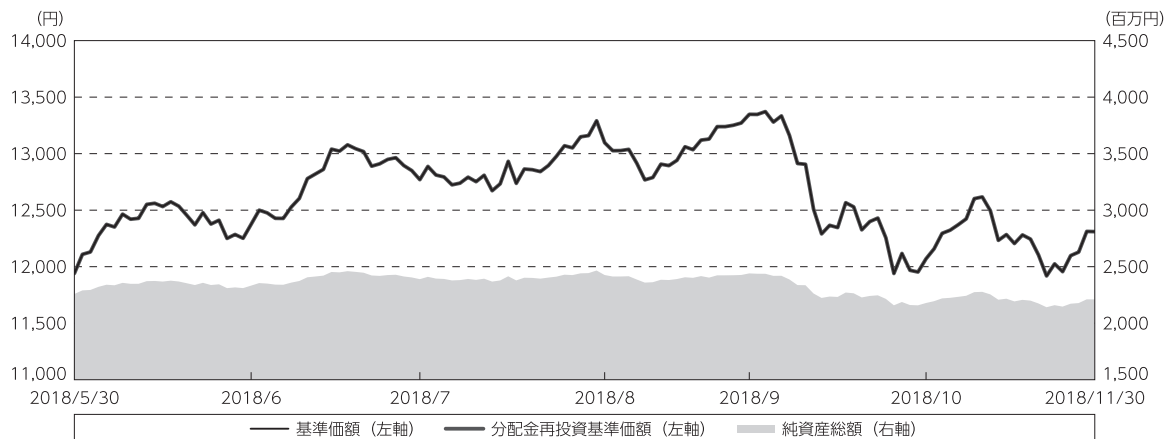
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2018年5月31日～2018年11月30日)



期首：11,940円

期末：12,310円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 3.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年5月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当てて銘柄を選別した結果、AUTOZONE(米国/小売)、EXPRESS SCRIPTS HOLDING(米国/ヘルスケア機器・サービス)、MICROSOFT(米国/ソフトウェア・サービス)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、米ドルやユーロなど、投資対象資産の通貨がおおむね対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

**[下落要因]**

- ・世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式を実質的な主要投資対象としているため、米国を除く世界の株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・個別銘柄において、CIELO（ブラジル／ソフトウェア・サービス）、SCHLUMBERGER（米国／エネルギー）、BRITISH AMERICAN TOBACCO（英国／食品・飲料・タバコ）などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

**投資環境**

TOPIX（東証株価指数）（日本）	△4.0%	S & P 500 指数（米国）	+1.3%
FTSE 100 指数（英国）	△9.2%	DAX 指数（ドイツ）	△11.9%
CAC 40 指数（フランス）	△7.8%		
米ドル／円 113円47銭（前期末108円41銭）		ユーロ／円 129円19銭（同125円05銭）	

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）、米ドル／円およびユーロ／円は当期末の数値です。

当期の世界の株式市場は、米国を除き、おおむね下落しました。米国株式市場は、2018年10月以降、米国金利の上昇や米中貿易摩擦の激化に対する懸念などから軟調に推移する局面もあったものの、①雇用統計を中心に米国経済の基礎的条件（ファンダメンタルズ）が比較的堅調さを保ったこと、②良好な企業決算一などに支えられ、株価は前期末比で上昇しました。一方、①イタリアやドイツの政局不安が嫌気されたこと、②米中貿易戦争の激化に対する懸念、③2018年8月のトルコリラの急落一などから大陸欧州や新興国株式市場に対する投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価が下落しました。

為替市場では、米ドルは対円で上昇しました。米国の堅調な景気を背景に主要国との間の金融政策の格差は当面続くとの見通しから、米ドルは円をはじめとする主要通貨に対して堅調な推移となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

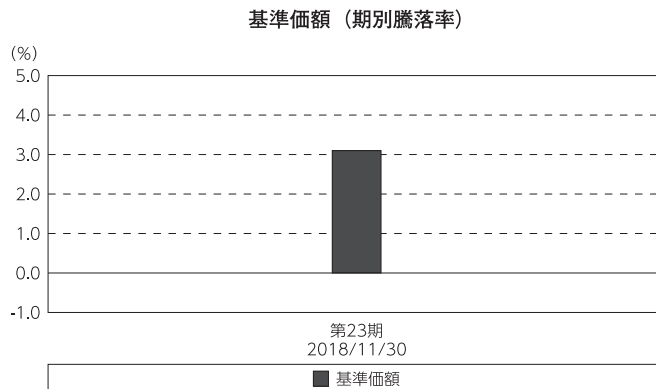
主として、インベスコ 世界株式 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。期中、株価上昇余地があり、競争優位性が高く質の高い経営を行っている判断した企業を中心に購入した一方、株価が適正水準に到達したと判断した銘柄や、既存の保有銘柄よりもさらに魅力的な投資機会を発掘した際は、保有銘柄の一部もしくは全売却を行いました。具体的には、さまざまな要因から売り上げの伸びが低迷していたMONDELEZ INTERNATIONAL（米国／食品・飲料・タバコ）を、新しい経営陣による事業ポートフォリオの見直しなどにより、今後収益の安定的な成長が期待できると考え、新規に組み入れました。その他、自動車生産のOEM化が進む中、電気自動車の部品などの高価格製品メーカーであるDELPHI TECHNOLOGIES（米国／自動車・自動車部品）を新規に組み入れました。一方で、株価上昇により、当運用チームの考える本質的な価値に達したと判断したEXPRESS SCRIPTS HOLDING（米国／ヘルスケア機器・サービス）、ADVANCE AUTO PARTS（米国／小売）、SAMSUNG ELECTRONICS-PREF（韓国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）などの全売却を実施しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2018年5月31日～ 2018年11月30日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,705

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて、世界各国(日本、新興国を含みます。)の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。2018年は、米国が世界の株式市場をけん引し、景気が堅調に拡大を続ける中、米国の金融政策は正常化に向けて進んでいます。急速な利上げペースに対する懸念もありますが、2018年11月に入り、米連邦準備理事会(FRB)の高官から利上げに対する慎重な発言が聞かれ、景気の腰折れを回避しようとする配慮も見られます。世界経済は、比較的安定した成長を続けているものの、欧州や新興国の政治リスクや貿易摩擦の行方が要因となり、株式市場の変動率が一時的に高くなる傾向があり、当運用チームは、これが今後も続くと思定しています。

このような投資環境の見通しの下、ポートフォリオの運営では、従来の投資哲学にのっとり、企業のファンダメンタルズに注目し、割安な水準で取引されている「質の高い企業」に投資することを継続していきます。「質の高い企業」とは、①持続性のある競争優位性、②良好な成長見通し、③財務の健全性、④実行力のある経営陣を有している—といった特徴を備えた企業を指し、このような企業は、市場シェアを引き上げながら資本効率を上げることが可能であると考えています。このような銘柄を発掘するために、ファンダメンタルズ・リサーチを引き続き重視し、企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から持続的な成長が見込まれる企業に投資を行う方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年5月31日～2018年11月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	108	0.855	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 52 )	( 0.408 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	( 52 )	( 0.408 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 5 )	( 0.038 )	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 2 )	( 0.018 )	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0 )	( 0.000 )	
(c) そ の 他 費 用	7	0.057	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	( 0.024 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	( 0.008 )	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 2 )	( 0.019 )	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
( そ の 他 )	( 1 )	( 0.005 )	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	117	0.930	
期中の平均基準価額は、12,628円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

**○売買及び取引の状況**

(2018年5月31日～2018年11月30日)

**親投資信託受益証券の設定、解約状況**

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ 世界株式 マザーファンド	千口 428	千円 650	千口 94,223	千円 144,587

(注) 単位未満は切捨てています。

**○株式売買比率**

(2018年5月31日～2018年11月30日)

**株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	当 期	
	インベスコ 世界株式 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	510,813千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,200,083千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.23	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

**○利害関係人との取引状況等**

(2018年5月31日～2018年11月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**○組入資産の明細**

(2018年11月30日現在)

**親投資信託残高**

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インベスコ 世界株式 マザーファンド	千口 1,590,681	千口 1,496,886	千円 2,231,259

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。



## ○投資信託財産の構成

(2018年11月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 世界株式 マザーファンド	2,231,259	100.0
投資信託財産総額	2,231,259	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,231,103千円)の投資信託財産総額(2,236,432千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年11月30日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.47円、1カナダドル=85.42円、1ブラジルリアル=29.44円、1ユーロ=129.19円、1英ポンド=145.01円、1スイスフラン=113.90円、1香港ドル=14.51円、100韓国ウォン=10.16円、1中国人民幣元=16.34円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月30日現在)

## ○損益の状況 (2018年5月31日～2018年11月30日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,231,259,171
インベスコ 世界株式 マザーファンド(評価額)	2,231,259,171
(B) 負債	20,644,837
未払信託報酬	20,007,772
その他未払費用	637,065
(C) 純資産総額(A-B)	2,210,614,334
元本	1,795,788,723
次期繰越損益金	414,825,611
(D) 受益権総口数	1,795,788,723口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,310円

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	86,972,153
売買益	96,074,955
売買損	△ 9,102,802
(B) 信託報酬等	△ 20,644,837
(C) 当期損益金(A+B)	66,327,316
(D) 前期繰越損益金	398,849,389
(E) 追加信託差損益金	△ 50,351,094
(配当等相当額)	( 1,858,675)
(売買損益相当額)	(△ 52,209,769)
(F) 計(C+D+E)	414,825,611
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	414,825,611
追加信託差損益金	△ 50,351,094
(配当等相当額)	( 1,859,860)
(売買損益相当額)	(△ 52,210,954)
分配準備積立金	484,059,404
繰越損益金	△ 18,882,699

&lt;注記事項&gt; (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,891,316,450円
期中追加設定元本額	517,122円
期中一部解約元本額	96,044,849円

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B) 信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

 (注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。  
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(18,046,537円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,859,860円)および分配準備積立金(466,012,867円)より分配対象収益は485,919,264円(1万口当たり2,705円)となりましたが、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

## ○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。



## 運用報告書

### 第23期

決算日 2018年11月30日

(計算期間：2018年5月31日から2018年11月30日まで)

運用方針	<p>①世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に分散投資を行い、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目標とします。</p> <p>②企業の調査・分析に当たっては、以下の観点で企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・持続可能な競争上の優位性のある企業</li><li>・参入障壁が高い事業を行っている企業</li><li>・長期的な成長性が見込まれる企業</li><li>・優良な経営陣を擁すると判断される企業</li></ul> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④株式の組入比率は、原則として高位を維持します。</p>
主要運用対象	世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式を主要投資対象とします。
組入制限	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p>

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	式率	投資信託証券率	純資産額
		騰落	中率				
	円		%	%	%	百万円	
19期(2016年11月30日)	12,327		3.9	96.4	—	2,774	
20期(2017年5月30日)	13,465		9.2	98.4	—	2,524	
21期(2017年11月30日)	14,645		8.8	96.8	—	2,513	
22期(2018年5月30日)	14,328		△2.2	96.2	1.1	2,279	
23期(2018年11月30日)	14,906		4.0	92.5	2.1	2,231	

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドは、企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から成長の見込まれる企業に投資を行っています。そのため、当ファンドと比較するベンチマークおよび参考指数を設けていません。以下同じです。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組入比率	式率	投資信託証券率
		騰落	率			
(期首)	円		%	%	%	
2018年5月30日	14,328		—	96.2	1.1	
5月末	14,531		1.4	97.1	1.6	
6月末	14,871		3.8	94.2	2.2	
7月末	15,368		7.3	95.7	2.2	
8月末	15,783		10.2	95.4	2.2	
9月末	16,105		12.4	92.3	2.2	
10月末	14,596		1.9	92.1	2.1	
(期末)						
2018年11月30日	14,906		4.0	92.5	2.1	

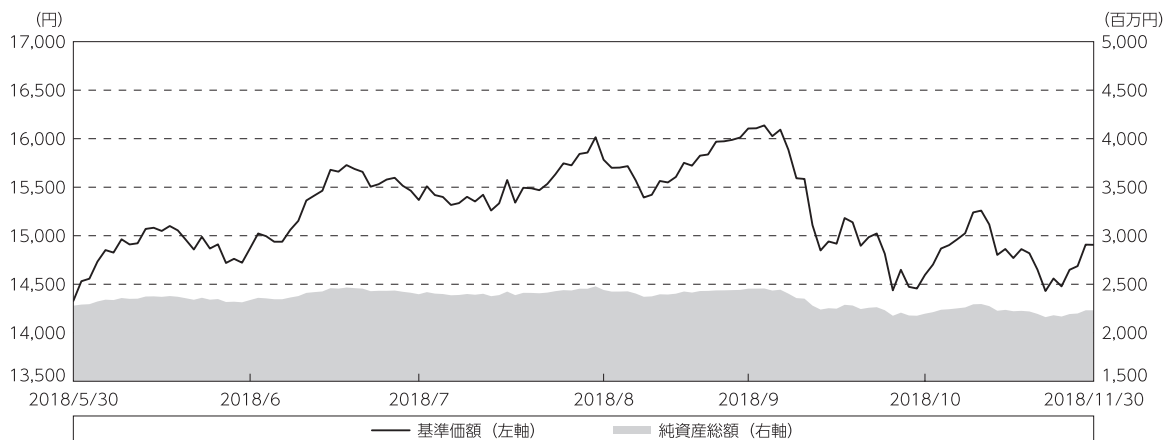
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2018年5月31日～2018年11月30日)



期首：14,328円  
 期末：14,906円  
 騰落率： 4.0%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当てて銘柄を選別した結果、AUTOZONE (米国/小売)、EXPRESS SCRIPTS HOLDING (米国/ヘルスケア機器・サービス)、MICROSOFT (米国/ソフトウェア・サービス) などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、米ドルやユーロなど、投資対象資産の通貨がおおむね対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・世界各国 (日本、新興国を含みます。) の株式を主要投資対象としているため、米国を除く世界の株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・個別銘柄において、CIELO (ブラジル/ソフトウェア・サービス)、SCHLUMBERGER (米国/エネルギー)、BRITISH AMERICAN TOBACCO (英国/食品・飲料・タバコ) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△4.0%	S & P500指数 (米国)	+1.3%
FTSE100指数 (英国)	△9.2%	DA X指数 (ドイツ)	△11.9%
CAC40指数 (フランス)	△7.8%		
米ドル/円	113円47銭 (前期末108円41銭)	ユーロ/円	129円19銭 (同125円05銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

当期の世界の株式市場は、米国を除き、おおむね下落しました。米国株式市場は、2018年10月以降、米国金利の上昇や米中貿易摩擦の激化に対する懸念などから軟調に推移する局面もあったものの、①雇用統計を中心に米国経済の基礎的条件 (ファンダメンタルズ) が比較的堅調さを保ったこと、②良好な企業決算一などに支えられ、株価は前期末比で上昇しました。一方、①イタリアやドイツの政局不安が嫌気されたこと、②米中貿易戦争の激化に対する懸念、③2018年8月のトルコリラの急落一などから大陸欧州や新興国株式市場に対する投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価が下落しました。

為替市場では、米ドルは対円で上昇しました。米国の堅調な景気を背景に主要国との間の金融政策の格差は当面続くとの見通しから、米ドルは円をはじめとする主要通貨に対して堅調な推移となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

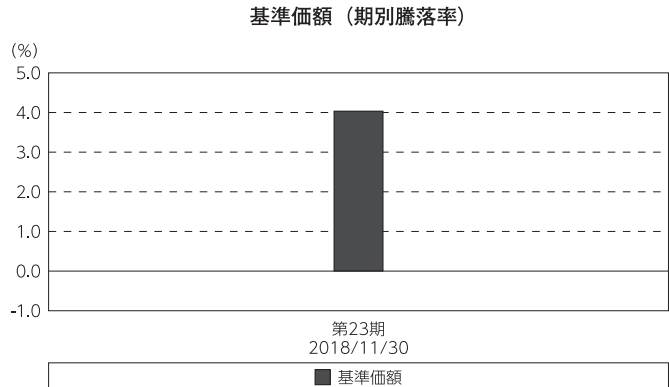
主として、世界各国 (日本、新興国を含みます。) の株式に投資を行いました。また、外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジは行いませんでした。

ポートフォリオの構築に当たっては、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て銘柄を選別しました。株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。期中、株価上昇余地があり、競争優位性が高く質の高い経営を行っていると判断した企業を中心に購入した一方、株価が適正水準に到達したと判断した銘柄や、既存の保有銘柄よりもさらに魅力的な投資機会を発掘した際は、保有銘柄の一部もしくは全売却を行いました。具体的には、さまざまな要因から売り上げの伸びが低迷していたMONDELEZ INTERNATIONAL (米国/食品・飲料・タバコ) を、新しい経営陣による事業ポートフォリオの見直しなどにより、今後収益の安定的な成長が期待できると考え、新規に組み入れました。その他、自動車生産のOEM化が進む中、電気自動車の部品などの高価格製品メーカーであるDELPHI TECHNOLOGIES (米国/自動車・自動車部品) を新規に組み入れました。一方で、株価上昇により、当運用チームの考える本質的な価値に達したと判断したEXPRESS SCRIPTS HOLDING (米国/ヘルスケア機器・サービス)、ADVANCE AUTO PARTS (米国/小売)、SAMSUNG ELECTRONICS-PREF (韓国/テクノロジー・ハードウェアおよび機器) などの全売却を実施しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



## ○今後の運用方針

主として、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に投資を行います。また、外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

ポートフォリオの構築に当たっては、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別します。2018年は、米国が世界の株式市場をけん引し、景気が堅調に拡大を続ける中、米国の金融政策は正常化に向けて進んでいます。急速な利上げペースに対する懸念もありますが、2018年11月に入り、米連邦準備理事会（FRB）の高官から利上げに対する慎重な発言が聞かれ、景気の腰折れを回避しようとする配慮も見られます。世界経済は、比較的安定した成長を続けているものの、欧州や新興国の政治リスクや貿易摩擦の行方が要因となり、株式市場の変動率が一時的に高くなる傾向があり、当運用チームは、これが今後も続くこと想定しています。

このような投資環境の見通しの下、ポートフォリオの運営では、従来の投資哲学にのっとり、企業のファンダメンタルズに注目し、割安な水準で取引されている「質の高い企業」に投資することを継続していきます。「質の高い企業」とは、①持続性のある競争優位性、②良好な成長見通し、③財務の健全性、④実行力のある経営陣を有している—といった特徴を備えた企業を指し、このような企業は、市場シェアを引き上げながら資本効率を上げることが可能であると考えています。このような銘柄を発掘するために、ファンダメンタルズ・リサーチを引き続き重視し、企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から持続的な成長が見込まれる企業に投資を行う方針です。

## ○当ファンドのデータ

(2018年11月30日現在)

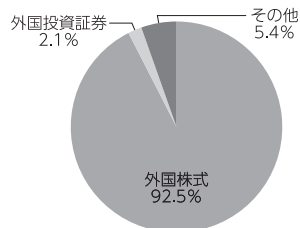
## 【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国 (地域)	比率 %
1	NIELSEN HOLDINGS	商業・専門サービス	米ドル	アメリカ	5.7
2	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	5.6
3	VISA-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	5.1
4	AUTOZONE	小売	米ドル	アメリカ	5.0
5	WELLS FARGO	銀行	米ドル	アメリカ	4.2
6	BECTON DICKINSON	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.8
7	FLOWERVE	資本財	米ドル	アメリカ	3.7
8	EXPERIAN	商業・専門サービス	英ポンド	イギリス	3.6
9	SAP	ソフトウェア・サービス	ユーロ	ドイツ	3.4
10	BUREAU VERITAS	商業・専門サービス	ユーロ	フランス	3.2
	組入銘柄数			34銘柄	

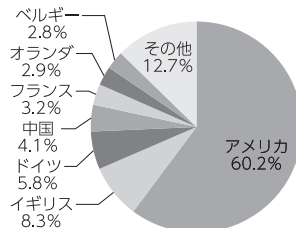
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国 (地域) につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

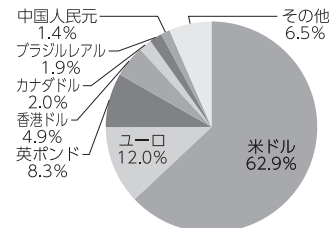
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年5月31日～2018年11月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円	%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	3	0.018	
(投 資 信 託 証 券)	(3)	(0.018)	
(b) そ の 他 費 用	4	0.029	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(1)	(0.005)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	7	0.047	
期中の平均基準価額は、15,209円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2018年5月31日～2018年11月30日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 307 ( 10)	千米ドル 976 ( 24)	百株 234 ( -)	千米ドル 2,549 ( 24)
	カナダ	46	千カナダドル 155	2	千カナダドル 10
	ブラジル	476	千ブラジルリアル 714	35	千ブラジルリアル 47
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	5	55	2	22
	フランス	-	-	36	80
	オランダ	-	-	2	10
	イギリス	12 ( 1)	千英ポンド 42 ( 8)	11	千英ポンド 30
	スイス	-	千スイスフラン -	37	千スイスフラン 297
	香港	-	千香港ドル -	36	千香港ドル 166
韓国	-	千韓国ウォン -	29	千韓国ウォン 110,893	
中国	-	千中国人民元 -	1	千中国人民元 63	

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

(注) ( ) 内は株式分割、株式転換、増資割当、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注) 地域は発行通貨によって区分しています。ただし、ユーロ建ての外国株式は発行体の国籍(所在国)などによって区分しています。以下同じです。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	EQUINIX	0.497	198	0.029	12

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ○株式売買比率

(2018年5月31日～2018年11月30日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	510,813千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,200,083千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.23

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年5月31日～2018年11月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**○組入資産の明細**

(2018年11月30日現在)

**外国株式**

銘柄	株数	株数	当期		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千円	千円		
HONEYWELL INTERNATIONAL	41	40	597	67,769	資本財	
AUTOZONE	13	11	975	110,667	小売	
BECTON DICKINSON	30	30	754	85,618	ヘルスケア機器・サービス	
WALT DISNEY	55	41	480	54,514	メディア・娯楽	
FLOWSERVE	157	154	735	83,471	資本財	
WW GRAINGER	16	11	361	40,995	資本財	
JOHNSON & JOHNSON	28	28	410	46,570	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WELLS FARGO	154	151	819	92,959	銀行	
MONSANTO	52	—	—	—	素材	
SCHLUMBERGER	107	105	484	54,947	エネルギー	
ADVANCE AUTO PARTS	9	—	—	—	小売	
VISA-A	73	71	1,000	113,516	ソフトウェア・サービス	
ANHEUSER-BUSCH INBEV ADR	64	70	547	62,174	食品・飲料・タバコ	
ACCENTURE	31	30	497	56,401	ソフトウェア・サービス	
DELPHI TECHNOLOGIES	—	47	80	9,141	自動車・自動車部品	
NIELSEN HOLDINGS	271	415	1,127	127,966	商業・専門サービス	
ANALOG DEVICES	49	60	537	61,018	半導体・半導体製造装置	
MICROSOFT	102	100	1,103	125,195	ソフトウェア・サービス	
STERICYCLE	78	86	418	47,466	商業・専門サービス	
EXPRESS SCRIPTS HOLDING	110	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
MONDELEZ INTERNATIONAL	—	75	336	38,158	食品・飲料・タバコ	
ALPHABET INC-CL A	4	4	498	56,511	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL C	1	1	198	22,475	メディア・娯楽	
小計	株数・金額	1,456	1,540	11,963	1,357,541	
	銘柄数<比率>	21	20	—	<60.8%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	115	159	534	45,676	エネルギー	
小計	株数・金額	115	159	534	45,676	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.0%>	
(ブラジル)			千ブラジルリアル			
CIELO	1,174	1,615	1,439	42,369	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	1,174	1,615	1,439	42,369	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.9%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
SAP	59	64	585	75,593	ソフトウェア・サービス	
HENKEL	46	45	419	54,151	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	106	110	1,004	129,744	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<5.8%>	
(ユーロ…フランス)						
BUREAU VERITAS	324	288	560	72,438	商業・専門サービス	
小計	株数・金額	324	288	560	72,438	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<3.2%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		期首(前期末)	期末		
(ユーロ…オランダ)	百株	百株	千ユーロ		
UNILEVER-CVA	104	102	500	64,687	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	104 1	102 1	500 <2.9%>	64,687
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	535 4	500 4	2,065 -	266,870 <12.0%>
(イギリス)			千英ポンド		
BRITISH AMERICAN TOBACCO	165	176	490	71,133	食品・飲料・タバコ
IMPERIAL BRANDS	95	93	226	32,850	食品・飲料・タバコ
EXPERIAN	300	294	558	80,954	商業・専門サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	561 3	564 3	1,275 -	184,938 <8.3%>
(スイス)			千スイスフラン		
NESTLE	62	25	219	25,017	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	62 1	25 1	219 -	25,017 <1.1%>
(香港)			千香港ドル		
SINOPHARM GROUP-H	1,091	1,067	4,150	60,225	ヘルスケア機器・サービス
AIA GROUP	549	537	3,458	50,179	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,640 2	1,604 2	7,608 -	110,405 <4.9%>
(韓国)			千韓国ウォン		
SAMSUNG ELECTRONICS-PREF	29	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	29 1	- -	- -	- <-%>
(中国)			千中国人民元		
KWEICHOW MOUTAI	35	34	1,880	30,725	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	35 1	34 1	1,880 -	30,725 <1.4%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,612 35	6,044 33	- -	2,063,546 <92.5%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数および評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 業種はG I C S (世界産業分類基準) に準じています。

(注) 期中に銘柄コード等の変更があった場合は、当該銘柄は期首とは別銘柄として記載しています。

(注) 一印は組み入れはありません。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当期		比率	
		期首(前期末)	期末		
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	%
EQUINIX	0.607	1	412	46,853	2.1
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	0.607 1	1 1	412 -	46,853 <2.1%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数および評価額の単位未満は切捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

**○投資信託財産の構成**

(2018年11月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2,063,546	92.3
投資証券	46,853	2.1
コール・ローン等、その他	126,033	5.6
投資信託財産総額	2,236,432	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産 (2,231,103千円) の投資信託財産総額 (2,236,432千円) に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年11月30日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.47円、1カナダドル=85.42円、1ブラジルリアル=29.44円、1ユーロ=129.19円、1英ポンド=145.01円、1スイスフラン=113.90円、1香港ドル=14.51円、100韓国ウォン=10.16円、1中国人民元=16.34円です。

**○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月30日現在)**

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,257,923,128
コール・ローン等	120,132,177
株式(評価額)	2,063,546,761
投資証券(評価額)	46,853,833
未収入金	21,552,358
未収配当金	5,837,999
(B) 負債	26,601,828
未払金	26,601,828
(C) 純資産総額(A-B)	2,231,321,300
元本	1,496,886,604
次期繰越損益金	734,434,696
(D) 受益権総口数	1,496,886,604口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,906円

&lt;注記事項&gt;

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	1,590,681,842円
期中追加設定元本額	428,182円
期中一部解約元本額	94,223,420円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ 世界株式オープン	1,496,886,604円
合計	1,496,886,604円

**○損益の状況 (2018年5月31日～2018年11月30日)**

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,631,045
受取配当金	24,480,969
受取利息	150,154
支払利息	△ 78
(B) 有価証券売買損益	72,149,590
売買益	235,897,962
売買損	△163,748,372
(C) 保管費用等	△ 702,898
(D) 当期損益金(A+B+C)	96,077,737
(E) 前期繰越損益金	688,499,013
(F) 追加信託差損益金	222,274
(G) 解約差損益金	△ 50,364,328
(H) 計(D+E+F+G)	734,434,696
次期繰越損益金(H)	734,434,696

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。